安全データシート
(SDS)

製品及び製造者情報

製 造 者 名　一般社団法人日本粉体工業技術協会
住　　所　〒600-8176　京都市下京区烏丸通六条上ル北町１８１
第５キョートビル７階
担 当 部 署　粉体工業技術センター　製造事業部門
電 話 番 号　075-354-3583　　FAX 番号　075-352-8530
Ｅ－ｍａｉｌ：testpowders@appie.or.jp
連　絡　先　同上

作　成　日　２０１５年　　６月　２３日
改　訂　日　２０２６年　　１１月　５日

製　品　名（化学物質名）
JIS 試験用粉体１　の　１６および１７種（炭酸カルシウム）
SAP 試験用粉体３　の　４種（炭酸カルシウム）

危険有害性の要約
［ＧＨＳ分類］

物理化学的危険性	分類結果
火薬類	該当しない
可燃性ガス	該当しない
エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高圧ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	該当しない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	該当しない
自己発熱性化学品	該当しない
水反応可燃性化学品	該当しない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	該当しない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

【混合物としての分類に関する注記】
本製品に含有される成分について、各成分単体の GHS 分類情報を確認し、JIS Z 7252 附属書 B に基づき混合物としての有害性分類を評価した。

MgO（1.0%）については、特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分３および眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性区分２に該当する成分として評価されるが、混合物としての分類基準と照合した結果、MgO の含有率は各有害性クラスに適用される濃度限界未満であるため、本製品の当該有害性分類には該当しないと判断した。

なお、成分単体の GHS 分類と混合物としての GHS 分類は異なるため、本項では混合物としての評価結果を記載している。

危険有害性の要約(一般事項)

危険性　：　床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。不燃物で火災・爆発性はない。
　　粒子が目に入ると粘膜に刺激を覚えることがある。
有害性　：　粉じんを長時間吸い続けると呼吸器系疾患の原因となる恐れがある。
　　粉体が皮膚に付くとまれにかぶれる事がある。

組成，成分情報　単一製品・混合物の区分：単一製品
化学名又は一般名：炭酸カルシウム（重質炭酸カルシウム、化学式　$CaCO_3$）
（本品は天然の石灰石を粉砕、分級したものである）
化学成分　：炭酸カルシウム（$CaCO_3$）　９８％以上
酸化マグネシウム（MgO）　１％
塩酸不溶物　０．４％
酸化鉄(Ⅲ)（Fe_2O_3）　０．０２％
酸化アルミニウム（Al_2O_3）　０．０２％
ＣＡＳ　Ｎｏ．：　１３１７－６５－３

応急措置

目に入った場合　：　清浄水で洗眼する、痛みがある場合は医師の手当を受ける。
皮膚についた場合：　特に問題ないが、まれにかぶれることがあるので、払い落として水道水で良く洗う。
経口摂取した場合：　衛生上問題はないが、体内で消化吸収されないので大量に摂取・吸引した場合は医師の診断を受ける。少量（数グラム程度）の摂取場合は体外に自然排出される。

火災時の措置

消火方法　：　燃えず、反応もしない。特別な処置は不要である。
消 火 剤　：　各種消火剤を使用しても問題なし。

漏出時の措置

床などにこぼれた場合は舞い上がることもあるので、速やかにモップなどで清掃する。

取扱いおよび保管上の注意
取 扱 い　：　飛散させないように、静かに取り扱う。
　　吸い込む、目に入る恐れがある時には保護マスク、保護眼鏡を着用する。
保　　管　：　容器を密封し、常温常湿の屋内に保管する。

暴露防止および保護措置

許容濃度　：　２㎎/m³（吸入性粉じん）８㎎/m³（総粉じん）（第３種粉じん）
設備対策　：　発じん場所は局所排気を設け、周りにこぼれないよう囲いをする。
　　局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。
保 護 具　：【呼吸用保護具】：　状況に応じ防じんマスクを着用する。
　　【 保 護 眼 鏡 】：　状況に応じ防じん保護眼鏡を着用する。
　　【 保 護 手 袋 】：　保護手袋を着用した方がよい。
　　【　保　護　衣　】：　特に必要ない。

物理／化学的性質

外 観 等 ：白色の粉体、無臭　　粒子密度　：　２．９～３．１　g/㎤
融　　点 ：約８５０℃
溶 解 度 ：水に対する溶解度　０．００１５％　有機溶剤、アルカリに不溶

安定性および反応性

安定性・反応性：　熱・光・衝撃に安定、引火性及び爆発性はなし。
　　酸類と反応して二酸化炭素を発生する。

有害性情報

該当なし

環境影響情報

移 動 性　：微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。
蓄 積 性　：なし
環境影響　：粉じんを外部へ排出すると、粉じんによる環境汚染の恐れがある。
その他　　：なし

廃棄上の注意　　一般産業廃棄物として処理できるが、地方自治体の基準に従うこと。

輸送上の注意

運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。
国連番号：なし

摘要法令

労働安全衛生法：労働安全衛生法施行令別表第９（名称等を表示・通知すべき危険有害物。
　　令和７年４月１日から労働安全衛生規則別表第２）
　　（令和８年４月１日から、酸化マグネシウム）
　　粉じん障害防止規則第２条第３号、別表第１（粉じん作業）
じん肺法　　：第２条第３号、別表（粉じん作業）
ＰＲＴＲ法　：第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有　なし
毒劇物取締法　：該当物質の含有　なし
内分泌攪乱物質：対象物質の含有　なし

その他

参考文献
・労働安全衛生法に基づくラベル表示・ＳＤＳ交付等の義務対象物質一覧
　　（令和７年（2025 年）４月１日施行分）（令和８年（2026 年）４月１日追加分）
・ＪＩＳ Ｚ ７２５２　ＧＨＳに基づく化学品の分類方法（2025）

・ＪＩＳ Ｚ ７２５３　ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）（2025）
・日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2025 年度　日本産業衛生学会）

[記載事項の取り扱い]

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。
また、このＳＤＳは、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。ここに記載してある注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。
特殊な取り扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

以上（全４頁）